

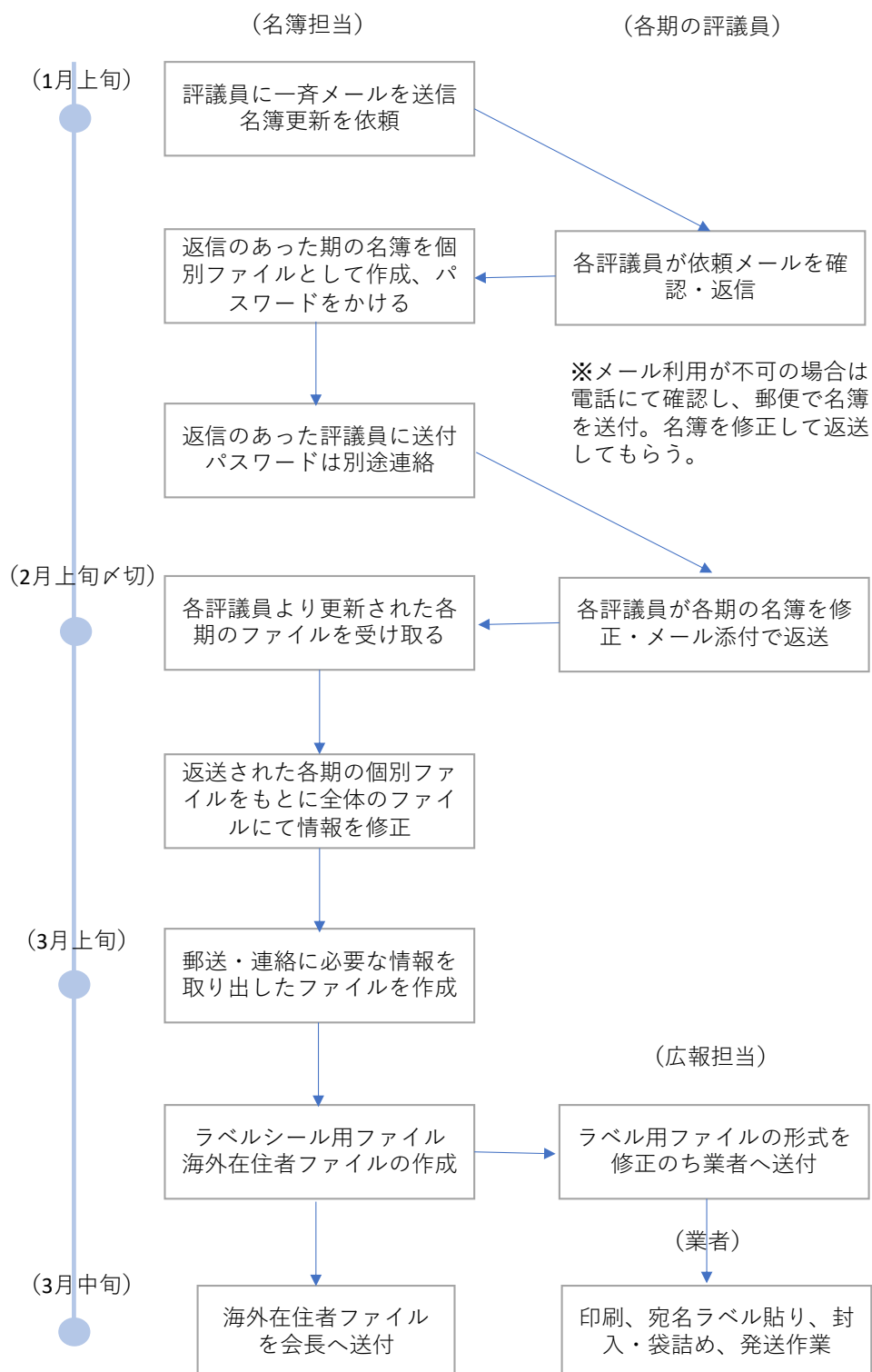
名簿更新作業に向けて

51 期 山口（名簿担当）

◇名簿更新作業の現状

2027 年度の同窓会親睦会「つゆ草の集い」に向けて、案内状と出欠返信ハガキ、会報誌「つゆ草」の発送を行うために、会員の住所を最新の情報にアップデートする必要がある。

従来、「つゆ草の集い」を開催する年の 1 月に各期の評議員に更新作業を依頼している。近年では、メールでの更新作業を基本とし、メールのやりとりが難しい期のみ郵送にて更新作業をお願いしている。従来の更新作業は図の通りである。



◇同窓会名簿管理方法の見直しについて（提案）

本同窓会は1期から79期まで（16歳から90歳代まで）の幅広い世代によって構成されている。そのため、すべての会員に対して同一の方法で名簿管理や情報更新を行うことが年々困難になっている。

また、会員数の増加に伴い、事務局の作業負担や個人情報管理上のリスクも大きくなっている。今後継続的かつ効率的な同窓会運営を行うためには、現行の名簿管理方法を見直し、より持続可能な仕組みへ移行する必要があると感じている。

現状の課題

1. 世代による連絡手段の違いや評議員の意識差

手紙や葉書、電子メール、携帯電話のメール、LINE、InstagramのDMなどSNS経由・・・

評議員不在、評議員と同窓生の連絡網がない、など評議員経由での情報収集が困難な期が存在

2. 宛先不明者

進学、就職、結婚、転居等・・・による住所変更の発生

3. 名簿更新作業における正確性の担保

短い作業スケジュール

4. 個人情報管理上の課題

紛失や情報漏えいのリスク

5. 事務局作業負担の増大

手作業による更新、会員数の増加

提案内容

1. 名簿更新スケジュールの前倒し

総会の前年9月に評議員へ依頼し、年内を目処に更新作業を進めてもらう。

2. 会員自身による情報更新制度への移行（検討中）

会員本人が住所、電話番号等を直接更新できる仕組みを導入する。評議員を主体とした更新方法も残しつつ、評議員不在の期にも対応可能な会員主体の運用を段階的に始める。

→同窓会ホームページに専用のWebフォームを設ける。

3. 連絡手段の多様化：郵送と電子メールの併用（段階的に実施を検討）

住所のように転居のたびに変更する必要がなく、比較的長期にわたり連絡を取り続けることができるメールアドレスを新たに管理する。当面はアドレスが入手でき電子配信を希望する会員にはメールで案内を送付し、メール活用における問題点を探る。最終的には郵送依存を減らし、連絡不能者の減少を図る。

→会報等にQRコードを掲載し、スマートフォンからでもアドレスを登録できるようにする。

4. 個人情報管理の一元化（＊今後に向けて検討を進める）

名簿データをWEB上で一元管理する。個人情報へのアクセス権限を適切に管理する。Excelファイルの配布を原則廃止する。

5. 評議員を通じた「つゆ草の集い」開催の周知

名簿更新の際、同窓会への住所等の提供についてご負担やご懸念がある場合には、その提供を強制することはしない。なお、同窓会から郵送によるご案内を行うことができないため、「つゆ草の集い」の開催案内等については、各期の評議員を通じて、グループLINEやメール等を活用し、広く周知いただくようお願いしたい。